

【資料②】

平成 28 年度 大阪アディクションセンター（OAC）事業案

【大阪アディクションセンター】

大阪アディクションセンター（以下、OACとする）とは、依存症の本人及び家族の相談・治療・回復を切れ目なく支援するための関係機関によるネットワーク
本ネットワークへの参加は、団体および機関の登録によるものとする

【OACの行動指針】

参加団体および機関は、支援の三原則「断らない 繋げる 守秘義務」を遵守し、主体的に関わる

【参加団体の役割】 ※参加団体…OAC 連携会議を構成する団体

- ① 参加機関を増やし、本ネットワークの拡充を目指すこと
- ② 所属している団体の会員や関係機関に対して、団体の機関誌や会議等を通じて、本ネットワークに関する情報の周知や広報に努めること

【参加機関の役割】 ※参加機関…依存症の本人や家族に対し、直接支援する機関

- ①相談を受けた機関は、必要な情報の提供や助言を行う等の支援に努めるとともに、必要に応じて適切に支援機関に繋げること
- ②相談を受けた機関は依存症以外の相談を受けた場合でも、依存症の問題に気づき、支援に繋げること

【28年度の事業内容】

- ①円滑な情報交換
参加機関リストの共有及びインテークシートの作成・配付
- ②情報共有手段の検討
メールを活用した研修情報等、依存症関連情報の共有化を促進
- ③会議の開催
OAC連携会議（仮称）を開催し、事業の決定や事例検討を実施
- ④ネットワークの拡大
参加団体および機関の拡大のための周知方法を検討し、実施

【事務局の役割】

- ①参加団体および機関の情報収集・提供
- ②OAC連携会議（仮称）の開催
- ③相談先のない本人や家族の問い合わせ窓口

【スケジュール】

- | | |
|----------|----------------------------|
| 28.2月 | 依存症治療拠点機関推進協議会において報告 |
| 28.3月～4月 | 参加団体および機関のメールアドレス集約 |
| 28.5月 | 第1回 OAC連携会議（依存症推進協議会と同時開催） |
| 28.10月頃 | 第2回 OAC連携会議（依存症推進協議会と同時開催） |
| 29.2月頃 | 関係機関研修会とOAC総会 |